

たまがわ びと

多摩川流域の水と緑に深く関わっている方から、お話を伺うコーナーです。

第7回 **村石 幸光**さん (大田漁業協同組合 組合長) **巴 達夫**さん (大田漁業協同組合 常務理事)

シジミ、アサリを多摩川のブランドに!

大きな良質ハマグリもとれることがあります。
禁漁期(シジミは8月1ヶ月間)や、安全対策など
川のルールを守って楽しんでください。



巴 達夫さん

多摩川の河口大田区羽田地区、組合員50名あまり。
今、河口ではシジミが週約2トン近く採れ、アサリも1日
で8kgぐらい掘る組合員もいます。羽田飛行場の誘導灯
下あたりまで船で採りに行きます。漁協は昨年9月に、
東京都からシジミの採取権を取りました。一般
の方は「くまで」でなら、1人2kgまで家族5人で
10kgまで採取できます。ただし「まきかご」や「じょ
れん」の使用は組合員以



外の一般の方は密漁になってしまい、できません。取り
締まりの対象になります。

干潮満潮の情報不足で、干潮干潟で1.5kmも先まで
行き、潮が満ちて来て戻るのが体力がなく、溺れる事故や、
ウエザーを着てヘドロの底にはまって抜け出せなくなる事
故があります。くれぐれも水難事故のないように安全対策
をして、楽しんでほしいです。6月に告知が始まりますが
8月1日より1ヶ月間禁漁期とします。

意外ですが河口でも、カワセミが居ついていますのでよく
見ます。また、たまに「ダツ」、「ツットオシ」という獐猛な大
きい魚を観察できることもあります。

多摩川の輪

繋がる、広がる

Vol.7

大師河原干潟館

多摩川の洪水時など防災活動や自然環境、地域の歴史・文化などについて情報発信・環境学習を行う市民活動の拠点の愛称です。国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所が管理する大師河原河川防災ステーションの一角にある大師水防センターの一部を利用し市民グループで構成する運営委員会と川崎市の協働により、平成20年1月から管理・運営を開始し、平成25年8月からはNPO法人多摩川干潟ネットワークがその任を担っています。

だいし水辺の楽校

この施設を中心とした河口域の水辺を活動拠点として「だいし水辺の楽校」が平成22年9月18日に開校しました。川幅が広く自然豊かな場所にあり、そのすべてが活動フィールドです。年間を通じて干潟観察や野鳥観察など、多くの人々が市内外から訪れます。目の前にヨシ原がひろがり、潮が引いた時に現れる干潟では海水と淡水が混じり合う汽水域特有の環境に生息する様々な生き物を観察することができます。

大師河原水防センター(大師河原干潟館)

水・木・土・日・祝 10:00~16:00

TEL:044-200-2268 FAX:044-287-7883 (だいしみずべ 検索)



多摩川河口は対岸東側は羽田飛行場で都会の河、コンクリート塊の下にカニが住む、水辺の楽校開校式(4月26日)に参加、桜湯の接待を受ける。地域のロータリークラブ、町会を始め、地域に根差した方々に支えられていることを実感しました。 水戸 宣子

編集後記

初夏、今年は2月が大雪の日もあって、3月のお彼岸まで寒い日が多かった。その後一気に春が来て、梅、桃、桜、菜の花など春の花がいっせいに咲きだした。若葉、新緑も一段とまばゆかった。

多摩川の風や、水、緑を感じながら、取材探しをすると、季節の動きを肌で感じて楽しい。これも役得と思いき... 感じる心を磨きたい。



ニヶ領せせらぎ館

- アクセス
JR南武線・小田急 登戸駅 徒歩10分
JR南武線 宿河原駅 徒歩15分
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮願います。
- 開園時間
午前10:00~午後4:00
6月~9月の土・日・祝日
午前10:00~午後5:00
- 休館日
毎週月曜日
(月曜が祝日の場合はその翌日)